

土のうの作り方について

6月からの出水期を迎えるにあたり、今後大雨による内水被害が生じる場合があります。今回は自宅等への浸水を最小限に抑えるため、土のうの作り方及びその他役立つ情報について紹介していきます。各自で防災の意識を高めましょう!!

STEP1 土のうを作る前に

① 土のうの紐の上端部分をひと結びします。

☞土のうを縛る際のストッパーになります。元から縛ってある場合はOK!

⚠ 下端の部分で縛ってしまうと土を入れた際、袋が閉まらず、土が溢れてしまうので注意



STEP2 土のうの作り方(2人の場合)

① スコップ担当、土のうの袋を固定する担当を決めます。

② 土のうに詰める土の量は約3杯分(約12kg~15kg)(※三角スコップの場合)

☞女性でも持ち運びやすい量となっております。

⚠ 土を満タンに詰めると袋を閉じることができなくなります。

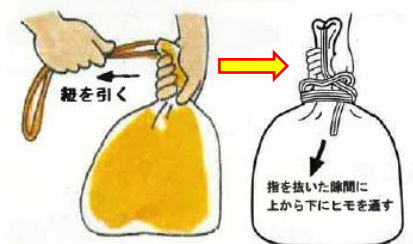
⚠ 土が少量の場合は土のうを積んでいく際に、隙間ができ、水が流れ込む恐れがあります。

STEP3 土のう袋の縛り方

① 土を入れ終わった後、袋の口を絞ります。

② 絞ったらひもを2~3回まわし、ひも出口を上から下へ通して締めます。

☞親指を添え、その指の上をひもで2~3回まわします。



STEP4 土のうの置き方

① 土のうの置きたい場所にブルーシートを敷きます。(あれば)

② 縛り口を内側(家側)に向け、水の流れて上流側から下流側へ向かって並べていきます。

③ 並べた土のうは足で軽く踏み固め隙間なく密着させます。

④ 最下段を並べたら互い違いになるように上段を重ねていきます。

その他役立つ情報💡

土のうの代用品について

① 簡易水のうと段ボール箱による工法

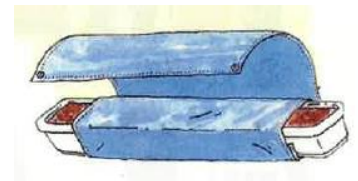
家庭で使用している 40 リットル程度の容量のごみ袋を二重にして、中に半分程度の水を入れてしめ、隙間なく並べます。

段ボール箱に入れて連結すれば強度が増し、中に詰める水のうも積み重ねて使用することもできます。



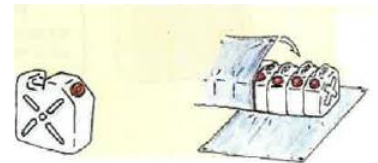
② プランターとレジヤースートによる工法

土を入れたプランターを連結し、レジヤースートを巻き込み使用します。



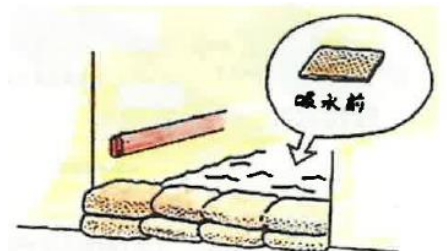
③ ポリタンクとレジヤースートによる工法

10 リットルまたは 20 リットルのポリタンクに水を入れ、レジヤースートで巻き込み、連結して使用します。



④ 吸水性ゲル水のうによる工法

土のうの代替として使用できる市販の吸水性ゲル水のうで浸水を防ぐ方法です。吸水性ゲル水のうは、軽量、コンパクトですが、水を吸うと膨張します。



自主防災連絡協議会ニュース編集部：高岡市総務部危機管理課
TEL：0766-20-1229 FAX：0766-20-1549

自主防災連絡協議会ニュース

検索